

宇宙開発事業団の平成 1 2 年度予算に係る
計画の見直しについて（案）

平成 1 1 年 1 2 月 1 5 日
宇 宙 開 発 委 員 会

H-Ⅱ ロケット 8 号機の打上げ失敗については、原因究明とそれを踏まえた対策に全力を傾注していくことが必要である。今回の失敗を踏まえれば、宇宙開発事業団の当面の計画については、H-Ⅱ A ロケットの開発を着実に遂行するとともに、緊急性の高い事業を確実に実施するため重点化を図っていくことが、喫緊の課題であると考ええる。

このため、宇宙開発事業団の平成 1 2 年度予算に係る計画について、次のとおり見直す。

なお、H-Ⅱ A ロケットの開発を含めた今後の宇宙開発事業団の事業の実施にあたっては、原因究明の進捗等を踏まえ、適切な対策を講じつつ進めていくことが重要であり、必要に応じ同事業団の計画について再度の見直しを加えることとする。

1. H-Ⅱ A ロケットの着実な開発の遂行

(1) 試験機の追加と余裕のある開発期間の確保

H-Ⅱ A ロケット試験機を 1 機から 2 機に増加させ、試験機 1 号機については打上げ目標年度を平成 1 1 年度から平成 1 2 年度に変更するとともに、試験機 2 号機は平成 1 3 年度に打ち上げることを目標に開発を進める。

試験機 1 号機では、民生部品・コンポーネント実証衛星（MDS-1）又は先端型データ中継技術衛星（ARTEMIS）を打ち上げるとともに、高速再突入技術実験（DASH）及び大型展開アンテナ小型・部分モデル展開実験を行う。また、試験機 2 号機では、ARTEMIS 又は MDS-1 を打ち上げる。

(2) 追加試験の実施など開発の強化

H-Ⅱ A ロケットの開発を強化するため、平成 1 2 年度におい

て、第1段エンジン、第2段エンジン、固体ロケットブースタ等について追加試験などを行う。

2. H-II ロケット7号機の開発中止

H-II A ロケットの開発に集中するため、H-II ロケットシリーズで一機残っていた7号機（平成12年度に打ち上げることを目標）の開発は取りやめる。

3. H-II A ロケットの着実な開発及びH-II ロケット7号機の開発中止に伴う計画の変更

(1) 環境観測技術衛星 (ADEOS-II)

環境観測技術衛星 (ADEOS-II) については、打上げ目標年度を平成12年度から平成13年度に変更する。

これに伴い、同衛星の相乗り衛星である遠隔検査技術の事前実証ミッション等を搭載した小型衛星、鯨生態観測衛星 (WEOS) 及び豪州小型衛星 (FedSat) の打上げ年度も平成12年度から平成13年度に変更する。

(2) オゾン層観測センサ (ODUS)

オゾン層観測センサ (ODUS) については、平成12年度の開発研究を見送ることとし、研究を継続する。

(3) 月周回衛星 (SELENE)

月周回衛星 (SELENE) については、打上げ目標年度を平成15年度から平成16年度に変更する。

(4) ミッション実証衛星 (MDS)

平成12年度にH-II ロケット7号機により打ち上げることとしていた民生部品・コンポーネント実証衛星 (MDS-1) については、H-II A ロケット試験機1号機（平成12年度打上げ目標）又は同試験機2号機（平成13年度打上げ目標）で打ち上げる。

ライダ実証衛星 (MDS-2) の開発は取りやめることとするが、ライダ実験機器については将来の地球観測衛星等への搭載をめざ

した研究として継続する。

(5) 技術試験衛星Ⅷ型 (ETS-Ⅷ)

技術試験衛星Ⅷ型 (ETS-Ⅷ) については、打上げ目標年度を平成14年度から平成15年度に変更するとともに、同衛星打上げ用H-ⅡAロケット(増強型)の開発着手を見送る。また、H-ⅡAロケット試験機1号機の打上げ目標年度の変更に伴い、平成11年度に実施することとしていた同衛星の大型展開アンテナ小型・部分モデル展開実験は平成12年度に行う。

(6) H-ⅡAロケット増強型試験機

平成14年度に打ち上げることとしていたH-ⅡAロケット増強型試験機の平成12年度の開発着手を見送り、平成15年度の打上げをめざす。

(7) 宇宙往還技術試験機 (HOPE-X)

宇宙往還技術試験機 (HOPE-X) については、平成12年度の実機製作着手を見送るとともに、打上げ目標年度を平成15年度から平成16年度に変更する。

(8) 先端技術実証ロケット

先端技術実証ロケットについては、平成12年度の開発研究着手は見送ることとし、小型ロケット打上げシステムの研究を継続する。

(9) データ中継技術衛星 (DRTS)

平成12年度にH-Ⅱロケット7号機により打ち上げることとしていたデータ中継技術衛星 (DRTS-W) については、平成14年度にH-ⅡAロケットにより打ち上げることを目標に開発を進める。

平成14年度に打ち上げることとしていたデータ中継技術衛星 (DRTS-E) については、平成12年度の実機製作着手を見送る。